



次の100年見据え サステイナブルな企業へ

アクティブハヤシ社長 **林英之**

—— 2023年9月、サイン

やディスプレイ資材の販売・樹脂加工を手掛けるアクティブハヤシとともに、その関連会社であるガラス加工・販売の「アートガラス」、損保ジャパン・SOMPPOひまわり生命の代理店「ニューライフハヤシ」の3社の社長に就任されました。経緯は。

林 今から17年前、25歳の時に、3代目社長であった林茂登世の一人娘と結婚。このほど4代目社長として、会社を引き継いだものです。

結婚当初から義父は元談半分で、「跡継ぎがおらんもんで、頼むぞ」と言っていました。私は社会保険庁、現在の日本年金機構に勤めており、そちらでやっていたつもりでしたので、正直聞き流していました。

しかし、今から5、6年前、義父が体調を崩しました。私はその当時、管理職としてポジションや給料もそれなりに上がり、さらなるキャリアアップを目指してはいたのですが、その一方で、キャリアアップにより、全国転勤が頻繁

になる恐れがあり、家族と離れて暮らすことになるので、当社に入ろうか、とも考え始めるようになっていました。

そして2年ほど前に、義父が倒れ、担ぎ込まれた病院で「引き継いでほしい」と言われ、観念して「わかりました」と返答。そうして21年4月に入社したのです。

—— **入社してから取り組まれたことは。**

林 取締役として入社したのですが、右も左もわからないので、まずは現場の事を知らなければと

1年間、関連会社の「アートガラス」が手掛けているガラス加工も含めて、製品の加工に携わりました。

その現場経験のおかげで、日々発生するさまざまな問題に対して、何をどうすれば解決できるかということをやイメージできるようになり、机上の空論で回答することを防ぐことができています。

これは前職での苦い経験に基づいています。管理職になると、現場をよく知らない部門へ異動する

ことがあり、特に退職間近は、現場を見ないまま業務を進めることが多くなつて、うまくいかなかったということがありました。こうした経験から「現地現物」を大切にしようと考えてるようになったのです。

この考えは社長になった現在も持ち続けており、1日1回は工場に足を運び、スタッフに声掛けしながら、変化はないかと確認しています。

—— 前職との違いを感じることはありますか。

林 民間企業は利益を上げていくことが大切です。また一定のルールはあるのですが、成果を上げるためには効率が悪くない限り、その過程について、ある程度自由に進めることができます。そうした物事の進め方は、公的機関と異なるため戸惑いますが、何もかもが違うというわけではありません。

例えば、どのような仕組みづくりや声掛けをすれば、社員一人一人がやりがいを持って日々の仕事に取り組むことができるか、といったことは共通しています。その



本社

点は、管理職として培ってきた力を生かすことができるでしょう。

その一方、企業である以上、多種多様なステークホルダーと良好な関係を築いていくことも大切にしていく必要があります。

—— 社長就任の抱負を。

林 当社は25年に創業100年を迎えます。これまで培ってきた伝統であったり、技術力、考え方などをリスペクトし、大切にしていく一方で、100年を迎えることはゴールではなく、次の100年に向けてどうするかを考え、持続可能な会社を構築していきまします。時代は変化し、これまでの伝統では太刀打ちできないことがあり、変えていかなければならないこともあるでしょう。

—— 引き続き大切にしていきたいことは。

林 先代が作成した「貢献・感謝・信頼を基に社業の繁栄を図り社員とその家族の幸福を実現すると同時に 広く社会の発展に寄与する」という企業理念です。これまでは、この企業理念を社外に向けて発信してこなかったのですが、これからは対外的にも浸透させていこうと思います。

この理念は、まずは社員とその家族が幸せになること、そうして初めて人や社会を幸せにすることができるといえるものです。私自身への戒めでもあり、社員の心が会社から離れるということがないようにしていきたいです。

—— 新しく進めていく取り組みは。

林 これは先代も実現を目指していたものですが、現在本格的に取り組んでいるのが業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）化

です。

恥ずかしい話ですが、当社は依然として紙のやり取りが多いです。既に、購買や仕入れ管理を行っている優れたソフトを導入しているのですが、まだその力を100%生かしていません。さまざまな事ができるソフトですので、フル活用できるようにしていきたい。

そして、そうした機能を使って加工場と連携し、製品の進捗状況の共有化を図るとともに、在庫のデータ化・見える化をして、さらなる効率化を実現していきます。

eコマースの導入も進めていきます。そこでは、端材を使ったオリジナル商品、光るアクリルケースなどの販売を一般消費者向けに行っていく計画です。

株式会社アクティブハヤシ

本社・工場：羽島郡岐南町三宅3-264

URL：https://www.a-884.com/

TEL：058-245-1543

創業：1925年4月

資本金：4500万円

事業内容：塩ビ・アクリル樹脂を素材にした広告用看板、フレキシブルシート、アルミフレーム看板の制作、店舗ディスプレイなどの製作、販売。

樹脂板および2次製品の卸売販売。

【関連会社】

アートグラス株式会社

本社・工場：羽島郡岐南町三宅3-264

URL：https://artglass884.com/

TEL：058-247-1183

株式会社ニューライフハヤシ

羽島郡岐南町三宅3-264

URL：https://newlife884.hoken-agent.com/

TEL：058-245-1545